

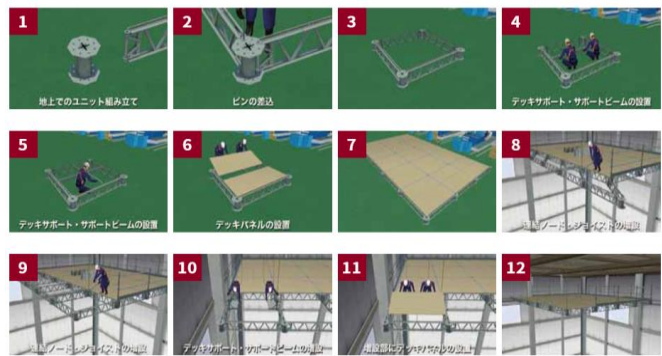
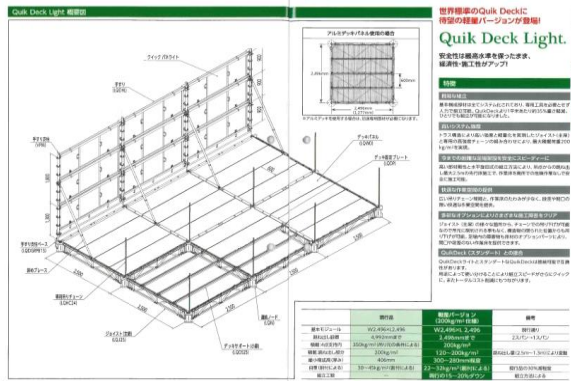
(様式—1) 新潟国道事務所 技術研究発表会 (令和4年度)

1	表題(課題)名	クイックデッキ足場の施工	
2	工事(業務)名	R3・4片貝橋塗替塗装工事	
3	受注者名	進興エンジニアリング株式会社	
4	工 期	令和 4年 4月12日 ~ 令和 4年12月 5日	
5	担当技術者(立場)名	現場代理人・監理技術者	(くすのき ゆきよし) 楠 幸芳
6	担当主任監督(調査)員	新発田維持出張所長	
7	課題区分名	③新技術	
8	工事(業務)概要	国道113号 関川村片貝橋(P1-A2)の塗替え塗装工事を施工した	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	本工事で施工する吊り足場において、特記仕様書により「クイックデッキ(先行床施工式フロア型システム足場)」【NETIS登録技術 TH-150007-VE】の使用が求められていた。 そのシステム足場については、弊社でも未だ使用実績が無かったため、その施工への対応が課題であると考えた。		
10	【実 施 内 容】		
	まずは、開発したメーカーに弊社へ来て頂き、このシステム足場について詳しく話を伺った。 又、この足場の施工実績がある会社を紹介して頂きたい旨、依頼した。 弊社では、カタログや動画サイト等により、各部材の組立方法や施工方法等を、事前に熟知できるよう学んだ。 その後、紹介して頂いた会社の担当者と、現場等で直接面談し、施工方法・手順等の打合せを密に行った。		
			
11	【実 施 結 果】		
	システム足場の施工に関しては、実績経験のある下請業者の技術者が、現場常駐してもらい、施工状況に合わせその都度、臨機応変に対応ができ、スムーズな施工につながった。 通常の吊り足場では、単管足場やSKパネル足場等が多用されている中で、本工事でのシステム足場の使用により、良い点としては、 1. スタートステージが出来れば、あとの組立は床材上で作業出来るので安全性は高い。 2. 吊り元チェーン間隔が従来より広いため、塗装する際のチェーンの移動本数が少なくなる。 3. 床面がフラットであるため、材料運搬等で台車が使えらる。 又、難がある点としては、 1. 資材は必ずリース品となり、他の工法でのリース代に比べ、コストが高い。 2. 各部材の重量があるため、取扱いに難がある。 3. 河川上の橋梁では、スタートステージ組みに必ず橋梁点検車が必要となる。		

(様式—2)

【実 施 内 容 等】

カタログや動画サイトにより理解を深める。

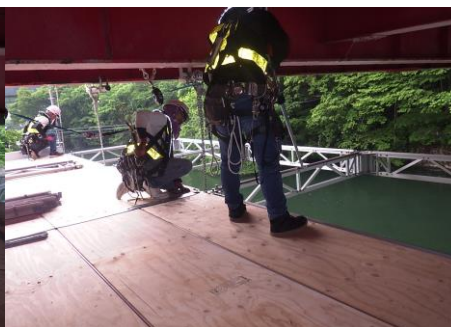
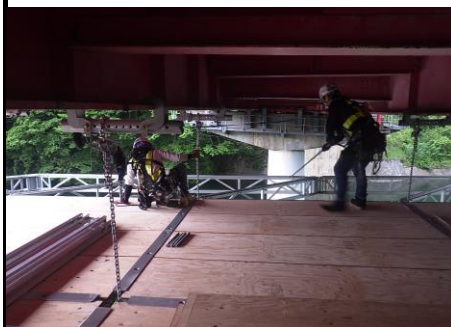


橋梁点検車によるスタートステージ組み



スタートステージ設置後、クイックデッキ上での組立

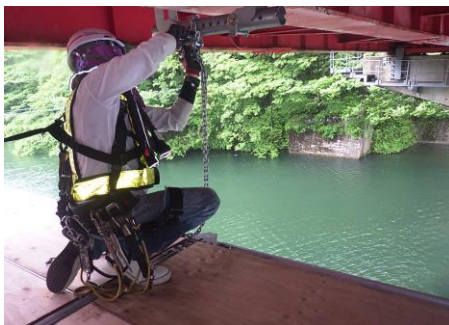
足場上でのフレーム組み



床材敷き



チェーン取付け



クイックデッキ下面



クイックデッキ床面

